



心に残る40周年記念行事

浦安ライオンズクラブ

第40期会長 小川 純一郎

歴史の1ページとなった浦安LC40周年記念式典は伝統的日本式の厳粛なものだったと思います。近年、周年行事の形式は色々です。「集い形式」もあれば、改まった形式でなく「例会形式」もあり、又屋外で行なうクラブもありと実に様々でどれが一番良いという答は無いと思います。ただ私が会長を受けてから、自分ならこういう形で周年行事を実行したいとイメージしたものは

- (1)、40年という歴史を創ってくれた先輩ライオン達に敬意を表したものであること
- (2)、来賓として出席して下さる方々に感謝の意を表したものであること
- (3)、将来に向けての奉仕活動の誓いと皆様方へのご協力をお願いするのに相応しいものであること
- (4)、5年に一度の周年行事であることから、後続く人の為にきちっとした形を伝える必要がある

従ってオーソドックスな形式での式典をお願いし、又40周年記念行事実行委員会の皆さんも同じ思いを持たれていたのので、スムーズに事が運ばれて行ったのだと思います。

式典の中で入会式を行えた事も印象的で、新入会員の方は地区ガバナーを身近に感じられたことだと思います。

式典に続く祝宴はガラリと雰囲気を変え、格調高いカルテット演奏あり、楽しいラッキーカード抽選会ありと、浦安LCならではの品を感じさせるものでした。

今思い返しても皆で楽しめた心地よさの残る祝宴でした。

そして特筆すべきは記念事業でしょうか。その中でも震災によって噴出した液状化の砂や瓦礫がれきを再利用して緑の防波堤となる

●希望の森植樹

これは333-C地区年次大会特別表彰の部で地区ビリーバー賞(最優秀クラブ賞)受賞の対象となったACTでした。そしてもう1つ

●浦安駅前の交通標語塔改修工事

工事の過程で判明した事ですが、3本の支柱のうち1本の根元がサビで腐食していてよくぞ昨年の大震災の震度5強の際に倒れずに済んだものだとゾッとする思いでした。(今後は10年～15年に一度は見直しが必要と工事業者の方より言われました)

その他交通パトロールカーの贈呈や薬物乱用防止教室用教材クリアファイルの配布等々と実に多彩な記念事業ではなかったかと思えます。

いずれにしてもメンバー皆さんの強い思いと、行動力の成せる業と思えます。このような方々に支えられて会長職を務められることを本当に感謝しております。

皆さんお疲れ様でした。そして本当に有難うございました。